

浜銀総研 News Release



2010年3月19日

大幅に改善した神奈川県内中堅・中小企業の景況感 ——企業経営予測調査2010年3月調査結果——

要 旨

神奈川県内中堅・中小企業の2010年3月末時点における業況判断D.I.（全産業ベース、業況が「良い」—「悪い」、回答社数構成比、%）は▲47となり、前回調査比10ポイント上昇した。D.I.値は3四半期連続で上昇しており、今回の上昇幅はバブル景気崩壊以降で4番目の大きさとなった。

今回の業況判断D.I.値を製造業・非製造業別にみると、製造業が前回調査比8ポイント上昇の▲51となり、非製造業も▲44と同12ポイント上昇した。製造業では金属製品や電子部品・デバイス、鉄鋼・非鉄、一般機械、非製造業においては情報・通信や飲食店・宿泊、建設などでD.I.値が大きく上昇した。

3か月先(6月末)の見通しについては、製造業でわずかな改善が予想されている一方で非製造業は悪化が見込まれており、全産業ベースのD.I.値は▲48と3月末比1ポイントの低下となる見通しである。

足下における県内企業の景況感は、出遅れていた非製造業も大幅な改善に転じ、幅広い業種に上向きの動きが広がっていることが確認された。ただ、先行きの見通しは慎重であり、D.I.値の水準もリーマンショック以前には戻しておらず、現状の業況を厳しいと考える企業が依然として多いことを示している。県内景気が自律的な回復過程に復するには、なお時間を要すると考えられる。

【本件についてのお問い合わせ先】
株浜銀総合研究所 調査部 新瀧健一
TEL. 045-225-2375 (ダイヤルイン)

企業経営予測調査

2010年3月実施

四半期別（第155回）結果

対象企業 神奈川県内の中堅・中小企業を中心とした1,341社

(うち製造業442社、非製造業899社)

回収率45.2%（回答企業606社、うち製造業247社、非製造業359社）

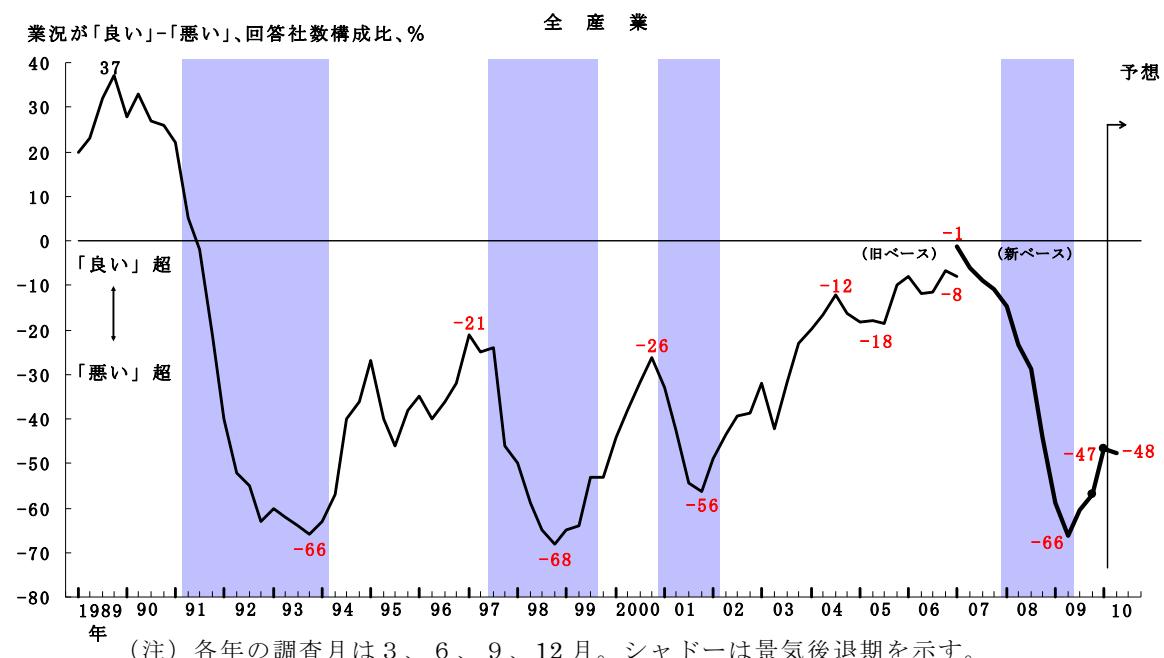
業況判断D.I.

(2010年3月末)

神奈川県内中堅・中小企業の2010年3月末時点における業況判断D.I.（全産業ベース、業況が「良い」-「悪い」、回答社数構成比、%）は▲47と前回の2009年12月調査に比べて10ポイント上昇した。D.I.値は3四半期連続で上昇しており、今回の上昇幅はバブル景気崩壊以降で4番目の大きさとなった。

今回の業況判断D.I.を製造業・非製造業別にみると、まず製造業では前回調査の▲59から今回▲51へと8ポイント上昇した。業種別には生産や受注動向が持ち直した金属製品や電子部品・デバイス、鉄鋼・非鉄、一般機械などでD.I.値が大きく上昇した。反面で、食料品と電気機械では「悪い」超幅が拡大に転じた。一方の非製造業は前回の▲56から▲44へと12ポイント上昇した。今回の上昇幅は1994年9月調査（前回調査比13ポイント上昇）に次ぐ大きさとなっている。業種別には前回D.I.値が急低下した情報・通信と飲食店・宿泊、売上面などに持ち直しがみられた建設などでD.I.値が大幅に上昇した。反面で不動産と運輸・倉庫では「悪い」超幅がわずかに拡大した。

業況判断D.I.の推移



(3か月先の見通し)

6月末時点の業況判断D.I.は、全産業ベースで▲48と3月末の実績に比べて1ポイントの低下が見込まれている。

製造業では、鉄鋼・非鉄や金属製品などで引き続き改善が見込まれている反面で、輸送機械と情報通信機械で大幅な悪化が予想されていることから、製造業全体のD.I.値は▲50と3月末比1ポイントの上昇にとどまる見込まれている。一方、非製造業では運輸・倉庫や飲食店・宿泊などで景況感の改善が見込まれている一方で、情報通信やサービス、建設などではD.I.値の低下が予想されていることから、全体でも▲46と3月末比2ポイント低下する見通しである。

足下における県内企業の景況感は、出遅れていた非製造業も大幅な改善に転じ、幅広い業種に上向きの動きが広がっていることが確認された。ただ、先行きの見通しは慎重であり、D.I.値の水準もリーマンショック以前には戻しておらず、現状の業況を厳しいと考える企業が依然として多いことを示している。県内景気が自律的な回復過程に復するには、なお時間を要すると考えられる。

足下の業況判断D.I.と3か月先の見通し

(業況判断 D.I. : 業況が「良い」マックス「悪い」の回答社数構成比、%)

	2009年 9月末	2009年 12月末	2010年 3月末	2010年 6月末 (予想)
全産業	▲ 60	▲ 57	▲ 47 (▲ 58)	▲ 48
製造業	▲ 69	▲ 59	▲ 51 (▲ 64)	▲ 50
一般機械	▲ 74	▲ 76	▲ 58 (▲ 82)	▲ 58
電気機械	▲ 74	▲ 52	▲ 59 (▲ 57)	▲ 54
情報通信機械	▲ 44	▲ 42	▲ 30 (▲ 33)	▲ 50
電子部品・デバイス	▲ 76	▲ 52	▲ 33 (▲ 65)	▲ 22
輸送機械	▲ 65	▲ 55	▲ 52 (▲ 63)	▲ 72
食料品	▲ 53	▲ 42	▲ 50 (▲ 58)	▲ 44
化学・石油	▲ 71	▲ 57	▲ 50 (▲ 57)	▲ 41
鉄鋼・非鉄	▲ 63	▲ 63	▲ 44 (▲ 63)	▲ 25
金属製品	▲ 74	▲ 87	▲ 64 (▲ 77)	▲ 52
非製造業	▲ 55	▲ 56	▲ 44 (▲ 53)	▲ 46
建設	▲ 48	▲ 52	▲ 33 (▲ 51)	▲ 40
不動産	▲ 28	▲ 5	▲ 8 (▲ 5)	▲ 8
運輸・倉庫	▲ 56	▲ 49	▲ 50 (▲ 45)	▲ 38
卸売	▲ 72	▲ 67	▲ 60 (▲ 63)	▲ 58
小売	▲ 66	▲ 61	▲ 56 (▲ 56)	▲ 58
情報通信	▲ 75	▲ 90	▲ 63 (▲ 90)	▲ 88
飲食店・宿泊	▲ 52	▲ 95	▲ 74 (▲ 89)	▲ 63
サービス	▲ 51	▲ 53	▲ 36 (▲ 53)	▲ 45

(注) カッコ内は前回2009年12月調査時点における2010年3月末予想である。

【参考表】

今回

	実績 (A)	予想 (B)	前回予想 - 実績	(B)-(A)
2007/3	▲ 1	▲ 4	+ 4	▲ 3
/6	▲ 6	▲ 3	▲ 2	+ 3
/9	▲ 9	▲ 5	▲ 6	+ 4
/12	▲ 11	▲ 12	▲ 6	▲ 1
2008/3	▲ 15	▲ 19	▲ 3	▲ 4
/6	▲ 23	▲ 27	▲ 4	▲ 4
/9	▲ 29	▲ 33	▲ 2	▲ 4
/12	▲ 44	▲ 54	▲ 11	▲ 10
2009/3	▲ 59	▲ 68	▲ 5	▲ 9
/6	▲ 66	▲ 60	+ 2	+ 6
/9	▲ 60	▲ 53	0	+ 7
/12	▲ 57	▲ 58	+ 4	▲ 1
2010/3	▲ 47	▲ 48	+ 11	▲ 1

第14循環

	実績 (A)	予想 (B)	前回予想 - 実績	(B)-(A)
2001/3	▲ 33	▲ 40	▲ 9	▲ 7
/6	▲ 43	▲ 46	▲ 3	▲ 3
/9	▲ 54	▲ 56	▲ 8	▲ 2
/12	▲ 56	▲ 59	0	▲ 3
2002/3	▲ 49	▲ 55	10	▲ 6
/6	▲ 43	▲ 37	12	+ 6
/9	▲ 39	▲ 36	▲ 2	+ 3
/12	▲ 39	▲ 38	▲ 3	+ 1

第13循環

	実績 (A)	予想 (B)	前回予想 - 実績	(B)-(A)
1998/3	▲ 50	▲ 58	3	▲ 8
/6	▲ 59	▲ 60	▲ 1	▲ 1
/9	▲ 65	▲ 64	▲ 5	+ 1
/12	▲ 68	▲ 66	▲ 4	+ 2
1999/3	▲ 65	▲ 63	1	+ 2
/6	▲ 64	▲ 59	▲ 1	+ 5
/9	▲ 53	▲ 42	6	+ 11
/12	▲ 53	▲ 52	▲ 11	+ 1

第12循環

	実績 (A)	予想 (B)	前回予想 - 実績	(B)-(A)
1993/3	▲ 60	▲ 69	1	▲ 9
/6	▲ 62	▲ 57	7	+ 5
/9	▲ 64	▲ 61	▲ 7	+ 3
/12	▲ 66	▲ 63	▲ 5	+ 3
1994/3	▲ 63	▲ 64	0	▲ 1
/6	▲ 57	▲ 50	7	+ 7
/9	▲ 40	▲ 29	10	+ 11
/12	▲ 36	▲ 33	▲ 7	+ 3

業況判断D.I.上昇幅上位10

	D. I.	変化幅
1	1994.06 ▲ 57	17
	1994.09 ▲ 40	
2	1999.06 ▲ 64	11
	1999.09 ▲ 53	
2	1996.12 ▲ 32	11
	1997.03 ▲ 21	
4	2009.12 ▲ 57	10
	2010.03 ▲ 47	
4	2003.06 ▲ 42	10
	2003.09 ▲ 32	
6	2003.09 ▲ 32	9
	2003.12 ▲ 23	

	D. I.	変化幅
6	1999.12 ▲ 53	9
	2000.03 ▲ 44	
6	1994.12 ▲ 36	9
	1995.03 ▲ 27	
6	1989.06 23	9
	1989.09 32	
10	2005.09 ▲ 18	8
	2005.12 ▲ 10	
10	1995.09 ▲ 46	8
	1995.12 ▲ 38	

(注) 業況判断D.I.は1989年3月から調査している。

以上